

標 題	出雲市内の土地利用型経営体による「次代に続く農業経営を考える会」 第2回研修会開催
-----	--

(ダイジェスト)

8月3日に今春発足した「次代に続く農業経営を考える会」第2回研修会を開催、2名の会員宅を訪問し、会員間の営農スタイルや今後の営農方針について活発な意見交換が行われました。

去る4月5日、集落営農法人を除く大規模土地利用型の17経営体による「次代に続く農業経営を考える会」が発足し、農産物の価格低迷、資材高騰、労働力不足等農業経営を取り巻く環境が厳しい中、今後定期的に視察や情報交換を行うことを申し合わせたところです。

第2回となる本研修会では、管内でも先進的な取り組みを実践している2経営体を視察し、新規転作作物として注目されているデントコーンや乾田直播栽培圃場の管理について説明を受けた後、熱心な意見交換がなされました。参加者が一番関心を寄せたのはやはり高性能な機械や大型の施設で、誰もがじっくりと見入っておられました。



デントコーン栽培圃場の視察



乾田直播でのWCS栽培圃場



現地視察の後は室内での意見交換を行いました。視察の感想を述べ合う他、利用権設定の増加に伴う対応や水田活用直接支払交付金の考え方など話は多岐に渡り、会員が農業経営を行う上での悩みを共有するとともに新たな道を模索する意見が多く出された会となりました。

最後に、今後も会員間の連携を深め現地視察や意見交換を通して共により良い農業経営を継続していこうと決意を新たにし閉会となりました。